

インターネット、その操作大丈夫!?

今や、インターネットは、我々の生活に深く関わるものとなりました。
どこにいても、最新の情報を手に入れることや、離れたところにいる人と写真やメッセージのやりとりができるなど、とても便利です。
しかし、使い方を間違えたり、危険性を知らないまましていると、犯罪の被害にあってしまうこともあります。



お金をだましとられる!? なりすましショートメール

携帯電話(スマートフォン)には、色々な機能があります。通話はもちろん、色々なホームページを見る、メールを送る、更にはゲームをすることもできます。

その機能のひとつ、SMS(ショートメール、ショートメッセージサービス、Cメール)って聞いたことはありますか?

これは、携帯電話の番号を宛先にして送るメールのことです。最近、このSMSを利用した詐欺の被害が急増しています。

有名な配送業者や、クレジットカード会社、銀行などのふりをして、あなたをだまし、個人情報を引き出そうとします。携帯電話を持っている人なら、誰でもだまされる可能性があるのです。

携帯電話に〇×銀行から「本人確認のお願い」というショートメールが届きます。

ショートメールには、「ここから手続きをしてください」とサイトのアドレスが書いてあります。

急いで手続きをしましょ

クリック!

こんな内容が届きます
「〇〇配送です。あなた宛ての荷物をお届けにあがりましたが、不在のため持ち帰りました。再配達の手続きはこちらから(偽物サイトへ誘導するアドレス)」
「会員登録料が未払いです。本日ご連絡なき場合、少額訴訟の手続きに移行いたします。連絡先はこちら(犯人につながる電話番号)」
など様々な文言を使ってきます。

偽物のサイトに接続されたのに気づかず、パスワードやクレジットカードの番号などを入力してしまうと、その情報は犯人のところに……

犯人が、あなたの情報を悪用し、お金を引き出したり高額な買い物をしたりします。

残高 0円!?

この手口について、動画でも詳しく説明しています

だまされないためには

- SMSに書いてあるホームページのアドレスや、連絡先を信用しない
絶対に、電話をかけたり、記載されているアドレスをクリックしたりしないでください。
- 銀行やクレジット会社のサイトには、公式サイトや公式アプリからアクセスするようにしましょう
- 身に覚えのないSMSには反応しない

困ったときには、ご家族や友人、警察に相談してください。

便利だけど、使用に注意! Wi-Fiスポット(公衆無線LAN)

「このお店ではWi-Fiが使えます」という言葉を聞いたり、お店の入り口などで、右のようなマークを見たことはありますか?

Wi-Fiというのは、無線を使ってインターネットに接続する技術のことです。この技術のおかげで、喫茶店やホテル、駅などで、その施設の中や周辺にいれば、誰でも、自由に無料でインターネットを使うことができるようになりました。これは「Wi-Fiスポット(公衆無線LAN)」というもので、外出先でインターネットを使いたいときにとても便利です。

しかし、誰でも使えるということは、悪い人も使えるということです。この便利な通信環境を利用して、あなたの個人情報を盗み取ろうとしています。

Wi-Fiスポットのある喫茶店で、インターネットをしています。

どこでもインターネットが使って便利ね

わ! すてきなカバン!

通販サイトを見ていたら、素敵な商品を発見しました。この通販サイトには何の問題もありません。しかし……

Wi-Fiスポットを使うときの留意点

- 1 ネットショッピングをしない
クレジットカードの情報や、住所などの情報が盗まれる場合がある。
- 2 インターネットバンキング(インターネットで銀行と取引をすること)を使用しない
パスワードやIDなどを盗まれ、お金を勝手に引き出される場合がある。

この手口について、動画でも詳しく説明しています

住所、クレジットカード番号、パスワード

よし買っちゃおう

そのまま買い物をしてしまうと、犯人が、その情報を盗み取る危険があります。

支払い 100万円!?

犯人は盗んだ情報を使って、高額な買い物をしたり、住所などの情報を悪用します。

ここにも注意! テレワーク

働き方改革や、新型コロナウイルスの影響で、「テレワーク」という言葉をよく聞くようになりました。テレワークは、ICT(インターネットを利用したコミュニケーション)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことをいいます。会社のオフィスに行かなくても、私生活に合わせて、自宅や近所の喫茶店などで仕事をすることができます。

一方で、コンピューターやインターネットのセキュリティ対策について注意が必要です。例えば、街中で自由に利用できるWi-Fiスポットを利用するときです。危険性を知らずに使っていると、事例のように、個人情報や会社の機密を全て盗み取られてしまうかもしれません。また、Wi-Fiスポットを使用していなくても、カフェなどでパソコンの画面を盗み見て、あなたの情報を得ようとしている人もいるかもしれません。

テレワークをする際の注意について、警視庁のホームページに詳しく掲載されています。ぜひ、ご覧ください。